

お弁当の日通信

令和5年12月22日 小笠原中学校
No. 8 食育担当



♪もういくつ寝るとお正月♪ 日本古来のおせち料理は「今年も家族みんなが一年間、健康で幸せに暮らせますように」という強い願いが込められた縁起の良い料理です。

「おせち」とは季節の節目（ふしめ）に当たる「節（せち）」の日を指す言葉で、漢字では「御節」と書きます。かつて平安時代の朝廷は、正月を含む5つの節に「五節会（ごせちえ）」の儀式を行い、特別な料理である「御節供（おせちく）」を神に供えていました。そののち、3月3日などの日本文化と関わる5つの節の日「五節供（ごせちく・ごせっく）」の行事が導入されます。江戸時代に、幕府が「節句（せっく）」の名称で公式な祝日として定めると、庶民の生活にも浸透し、御節供（おせちく）は最も大切な正月の料理を指し、「おせち」と呼ばれるようになりました。

「福が重なる」といわれる重箱（じゅうばこ）に詰めて保存する方法は、江戸時代に入ってからのことです。地域によっては、縁起がよいとされる5や7などの奇数で料理を詰め、向きや並べ方などのしきたりが残ります。重箱には季節の野菜や、豆腐、こんにゃく、昆布などを使った料理が中心で、収穫の報告やお礼の意味を込めて神に供えていましたが、江戸時代後期には、料理の一つずつに意味が込められました。例えば黒豆は、まめに働き、まめに暮らせるように…つまり、真面目で勤勉に働き、元気で暮らせますように…という願いが込められています。

お正月はおせち料理を食べながら、それぞれの料理の由来を調べてみてはどうですか？

1年生

「家庭科で習ったみじん切りとゆでる作業を使ってお弁当を作れました」「だんだん出来上がっていく感じが楽しかった」「全体に火が通るように工夫した」など、調理実習で学んだことを活かしながらお弁当作りに取り組めたようです。安全面にも注意しながら、来月も頑張ってくださいね。

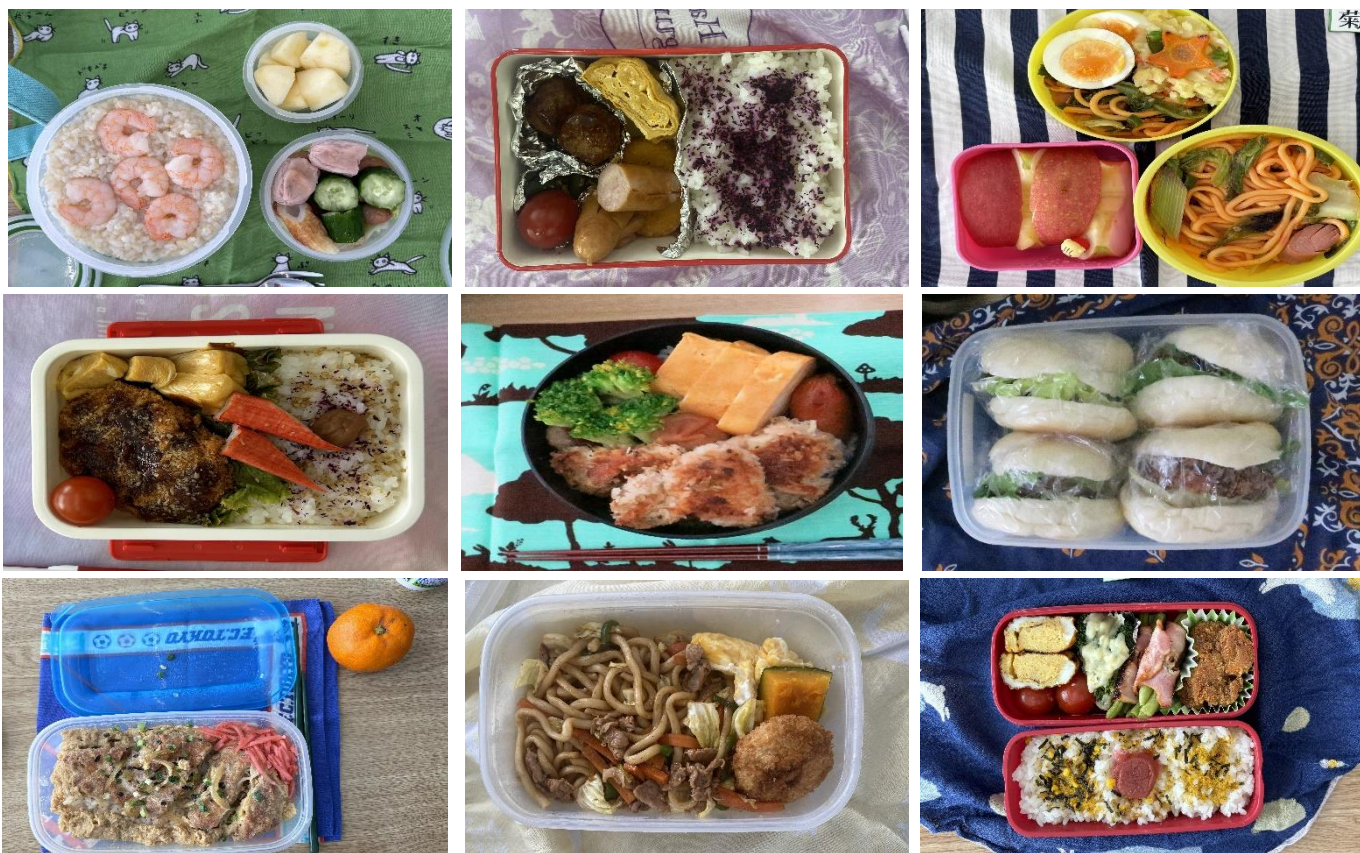


1月補食給食などの予定

- 11日(木) ヨーグルト
- 17日(水) ヨーグルト飲料
- 23日(火) お弁当の日
- 24日(水) ヨーグルト

2年生

「いつもは少し憂鬱になりながら、お弁当を作っていたけど今日は楽しく取り組めた。」
 「見た目も可愛く仕上げた」「彩りに気を付けながら詰めたので、パズルをしているように感じて楽しかった」など、一人ひとり工夫が感じられました。「お弁当の日を忘れたので、タイムくんを書いて忘れない」と反省もありました。来月を楽しみにしています。



3年生

「揚げ物に挑戦して大変だった」「たまご焼きを焦がさずに作るために…」「切ることで断面が見える」など調理の様子が目に浮かぶ感想が多かったです。『今までの経験+挑戦』が感じられます。次へのステップにチャレンジしていますね。頑張れ受験生！！

